

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 高山陣屋跡整備検討委員会開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 高山陣屋管理事務所 管理調整係 電話番号：0577-32-0643

E-mail：c21806@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 117千円（前年度予算額： 114千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	114	57	0	57	0	0	0	0	0
要求額	117	58	0	59	0	0	0	0	0
決定額	117	58	0	59	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

高山陣屋跡保存修理事業（国庫補助事業）の整備内容を検討するため、委員会を開催する。

### (2) 事業内容

高山陣屋跡整備検討委員会の開催 委員4名

### (3) 県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	42	委員謝金（文化庁担当官以外）@10,500円×4人
旅費	75	委員旅費（費用弁償）
合計	117	

#### 決定額の考え方

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
施設を適切に保存するため、高山陣屋跡整備検討委員会を開催し、施設整備内容の検討を行い、文化庁の指導を得ながら計画的に事業を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

会議開催費のため、数値化は困難

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
高山陣屋跡整備検討委員会の開催  
令和2年7月29日(水) 開催

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
施設の保存修理について検討を行い、国史跡高山陣屋跡を適切に整備することができた。  
適切に整備した施設を、広く公開していく。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	施設を計画的に整備していくために、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	施設を計画的に整備していくために、有効である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	計画的に整備していくための検討を行い、施設を適切に保存していくことができる。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後も継続して委員会を開催し、指導・助言を受けながら、計画的に施設の整備を進めたい。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 年間345千人(平成31年度)の入場者がある国史跡高山陣屋跡を県民の誇りとして維持保存していくため、継続して委員会を開催し、計画的な整備について検討を行っていく。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	